

令和3年3月15日

福島県農林水産部

県オリジナル花き品種の名称について

このたび、県農業総合センターが開発したリンドウ及びカラーの新品種の名称を決定しました。

あま がわ
天の川（リンドウ「福島栄22号」）
はにかみ（カラー「福島1号」）
ミルキームーン（カラー「福島2号」）
キビタンイエロー（カラー「福島3号」）

【名称の決定経過】

1 名称募集

募集期間 令和2年11月6日（金）～12月6日（日）

応募総数 1,778点

応募者数 640名（県内295名、県外345名）

2 名称決定の方法・経過

応募いただいた名称案について、JAグループ福島のほか、県内の花き卸業者や生産組合等の意見も伺いながら審査を行い、得票数が最上位だった名称案を品種名称に決定しました。

3 品種名称の応募者

品種名称の応募人数等は以下のとおりです。

- ・「天の川」 2名（南相馬市、東京都）
- ・「はにかみ」 2名（東京都、兵庫県）
- ・「ミルキームーン」 1名（神奈川県）
- ・「キビタンイエロー」 1名（福島市）

◇担当

| | | | | |
|-------|----|----|-----------------|---------|
| 農業振興課 | 主幹 | 新田 | 電話 024(521)7317 | 内線 3176 |
| 園芸課 | 主幹 | 奥谷 | 電話 024(521)7357 | 内線 3250 |

新しい県オリジナルのリンドウ品種

あま がわ 「天の川」

農業振興課（研究開発担当）

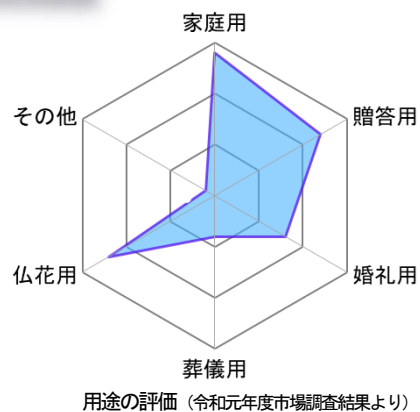
1 品種の特徴

- 花の外側は赤紫と淡い紫のストライプ様、内側は鮮やかな青紫色で先端に小さな斑点模様が入る。
- ササリンドウ系統の晩生品種で、福島県では9月上旬～下旬頃の出荷となる。
- 花がよく目立ち、暗い中でも花が閉じにくい。



2 市場の評価

- 評価を依頼した市場関係者の95%が「取り扱いたい」との意向。
- りんどうの主用途である仏花に加え、家庭・贈答・婚礼用としても期待できるとの評価。



3 育成の経過

- ササリンドウ系統の「ST9-1」を母、ササリンドウ系統の「福島交20号 (B0201)」を父として2008年に交配し、育成したF1 (一代雑種) ※1品種。
- ※1 第一世代目の子孫のことで、形質が安定し、収量が得られやすい等の特徴がある。

新しい県オリジナルのカラー品種

「はにかみ」

農業振興課（研究開発担当）

1 品種の特徴

- 花^{※1}の地色は白で、縁に入る桃色の濃淡は開花する時期によって変化する。
 - 花の形はラップ型で、切り花の長さは50～60cm程度で、比較的コンパクト。
- ※1 正しくは「仏炎苞（ぶつえんほう）」といい、いわゆる「花びら」とは異なるもの。



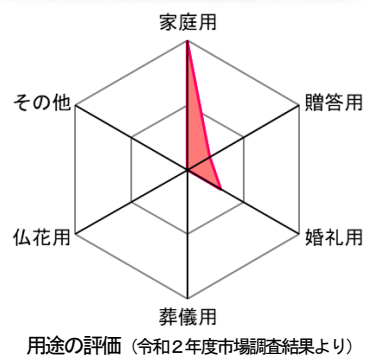
2 市場の評価

- カジュアルフラワーとしての利用が十分見込め、カラーの平均相場並の価格が期待できるとの評価。

3 育成の経過

- 畑地性カラー品種の「レーマニーカーミネア」を母、「ホワイトゼム」を父として2004年に交配し、育成したF1（一代雑種）^{※2}品種。
- 花の大きさや全体のバランスが良好であること、花立ち数が多いこと、球根の生産性が優れることから品種候補として選抜。

※2 第一世代目の子孫のことで、形質が安定し、収量が得られやすい等の特徴がある。



新しい県オリジナルのカラー品種
「ミルクームーン」

農業振興課（研究開発担当）

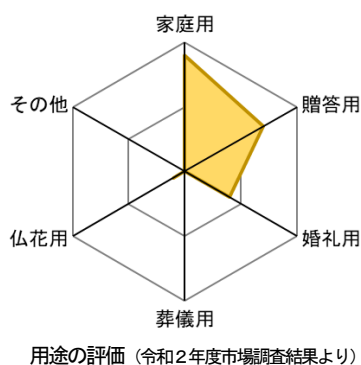
1 品種の特徴

- 花^{※1}はクリーム色のロート型で、比較的大きく開く。
 - 切り花の長さは55～65cm程度。
 - かつての主力品種「ブラックアイドビューティー」に似ている。
- ※1 正しくは「仏炎苞（ぶつえんほう）」といい、いわゆる「花びら」とは異なるもの。



2 市場の評価

- 全体のバランスがよく、家庭用を中心に贈答から婚礼まで広い用途が見込め、評価を依頼した市場関係者の過半数が「取り扱いたい」との評価。



3 育成の経過

- 畑地性カラー品種の「ホワイトゼム」を母、「ネストゴールド」を父として2005年に交配し、育成したF1（一代雑種）^{※2}品種。
 - 花の色や形、球根の生産性が優れることから品種候補として選抜。
- ※2 第一世代目の子孫のことで、形質が安定し、収量が得られやすい等の特徴がある。

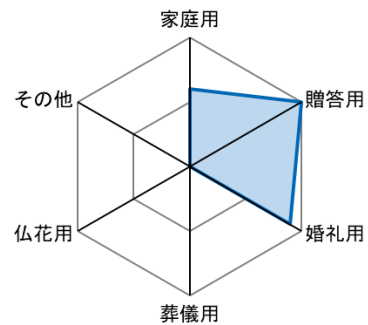
新しい県オリジナルのカラー品種
「キビタンイエロー」

農業振興課（研究開発担当）

1 品種の特徴

- 花^{※1}は鮮やかなやや明るい黄色のロート型で、大きく開く。
- 切り花の長さは65～75cm程度。
- 外観品質が特に優れる。

※1 正しくは「仏炎苞（ぶつえんほう）」といい、いわゆる「花びら」とは異なるもの。



用途の評価（令和2年度市場調査結果より）

2 市場の評価

- 高級路線の婚礼・贈答用としての利用が見込め、評価を依頼した市場関係者全員が「取り扱いたい」との評価。

3 育成の経過

- 畑地性カラー品種の「ブラックマジック」を母、「ベストゴールド」を父として2007年に交配し、育成したF1（一代雑種）^{※2}品種。
- 花立ち数は少ないものの、花の色や形が特に優れること、球根の生産性が良好であることから品種候補として選抜。

※2 第一世代目の子孫のことで、形質が安定し、収量が得られやすい等の特徴がある。